

週日の説教

金 大烈 神父 2009年12月4日(金)

《「はい」信じます》

おはようございます。

皆様、信じるとはどういうことでしょうか。どういう意味でしょうか。

妻が夫の全てのことを信じる事が出来るのでしょうか。信じているというよりもむしろ信じたい気持ちなのでしょうね。逆に夫が妻のことを100%信じられるのでしょうか。お互いに知らない事が沢山あると思います。長い年月一緒に生活していても「この人何を考えているのか分からない。」と思うことがありますよね。自分の両親の事を思い出しても同じだったと思います。

見えないものを信じなければならないのが私達ですよね。2000年前に遠いイスラエルという国で生まれたイエスと言う人が、色々話された事、見せて下さった事、それを直接見たこともないのに伝えられた事を信じて、或いは信じようとして私達は信仰の生活をしています。

今日の福音で(マタイ 9・28)「わたしにできると信じるのか」とイエス様はおっしゃいましたが、これは難しいですよね。しかし、歴史の中で多くの聖人達が証明している事は、赤ちゃんが条件無しに親を信じているように、「神様が何とかして下さい。」と信じる心で全てを委ね、色々な事を行って来ました。ですからその実が見えたことを、私達も考えてみましょう。

夫婦の間では本当に100%信じるとは言えないかも知れませんが、幼い子供は親に対して100%の信頼を持っています。そうでしょう。何をしても「お父さん、お母さん」の話を信じます。私達も、神様に対してこの様な信頼の心を持たなければなりません。皆様は、そういう意味では幸せな方だと思います。

実際に、聖書ではよく現されているのですが賢くて知恵がある者には神様がその御旨を現さずに幼子のような者にあなたのその御旨を現された事を感謝しますというイエス様の告白があります。やっぱり私達は神様を信じるからあらゆる全ての事が出来るのだと思います。

皆様、本当に祈って下さい。いつも祈って下さい。善い事があっても悪い事があっても祈って下さい。その姿勢が、その振る舞いが大事だと思います。ですから、嬉しい時も、悲しい時も祈って下さい。「お父さん〔御父〕、何とかして下さい。」「私は今、お腹が空いています。お腹が痛いです。」「あなたが助けて下さることを願います。」という気持ちがあれば、絶対、神様は私達を見捨てられないと思います。そして、私達も神様から離れないことを信じます。

さあ、皆様「わたしにできると信じるのか」と、今日イエス様がおっしゃっています。

私達は【はい】と答えなければならないことを、この福音を通してもう一度考えてみましょう。

ありがとうございました。